

小池光

「ことば」

セッション

VOL.10

KOTOBA

NO

SESSION

哲学者と歌人、
それぞれの立場から、
広く「ことば」の持つ力、
不思議さ、
可能性を語ります。

「鷺田清一と語ることばの力」

鷺田清一（わしだ きよかず）

哲学者、せんだいメディアテーク館長。1949年、京都府生まれ。京都大学文学部大学院修了。大阪大学教授・総長、京都市立芸術大学理事・学長などを歴任し、現在、大阪大学名誉教授、京都市立芸術大学名誉教授。これまで哲学の視点から、身体、他者、言葉、教育、アート、ケアなどを論じるとともに、さまざまな社会・文化批評をおこなってきた。著書に『分散する理性』、『モードの迷宮』（サントリイ学芸賞）、『聴くこと』、『桑原武夫学芸賞』、『くずくず』の理由（読売文学賞）、『しんがりの思想』、『濃霧の中の方向感覚』など多数。2004年紫綬褒章受章。現在「折々のことば」（朝日新聞）を連載中。

小池 光（こいけ ひかる）

歌人、仙台文学館館長。1947年、宮城県生まれ。東北大学理学部大学院修了。1972年「短歌人会」に入会。1975年から31年間、私立高校の理科教師をつとめる。歌集に『バルサの翼』（現代歌人協会賞）、『草の庭』（寺山修司短歌賞）、『静物』（芸術選奨新人賞（文学部門））、『滴滴集』（斎藤茂吉短歌文学賞）、『時のめぐりに』（追空賞）、『山鳩集』（小野市詩歌文学賞）、『思川の岸辺』（読売文学賞）、『エッセイに』、『うたの動物記』（日本エッセイスト・クラブ賞）、『評論集』、『短歌 物体のある風景』、『茂吉を読む 五十代五歌集』（前川佐美雄賞）などがある。2013年紫綬褒章受章。読売新聞、北国新聞などの歌壇選者をつとめる。

交通のご案内

■バス利用の場合

〈宮城交通バス〉
仙台駅西口バスプール2～4、6番乗り場 仙台北・泉地区方面行（急行・北山トンネル経由を除く）
〈市営バス〉
仙台駅西口バスプール6番乗り場 八乙女駅行
※いずれも「北根二丁目・文学館前」下車

■地下鉄利用の場合

地下鉄南北線「台原駅」下車、南1番出口より徒歩約25分（台原森林公園内あかまつの道経由）
※山道です。特に雨天時は道が滑りやすくなり危険ですので、バスをご利用ください。

■駐車場40台（無料）

台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



2019年11月30日【土】13:30~15:00

仙台文学館 講習室

定員

100名

申込方法

往復はがきに、イベント名、お名前、住所、電話番号を記入の上、仙台文学館へ。往復はがき1枚につき1名の申込み。締切11月12日（火）必着。申込多数の場合は抽選になります。

※いただいた個人情報は、本イベントのご連絡以外に使用しません。



(公財)仙台市市民文化事業団
仙台文学館

〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1
TEL:022-271-3020
<https://www.sendai-lit.jp>